



# Cat<sup>®</sup> 390F L

## 油圧ショベル

### 2017

**390F Lは、生産性の向上と、所有コストやオペレーティングコストの削減を目指して製造されました。さらに、出力、燃料効率、信頼性など、成功に必要な要素をすべて備えています。**

#### 作業性能

- C18 ACERT™エンジンは、オフロード法2014年 (Tier 4 Final) 排出ガス基準に適合しています。
- 独自のCat Adaptive Control System (ACS) バルブにより、必要な場所で必要なときに流量を確保することができるため、よりスムーズな操作と効率性の向上を実現できます。エンジンの燃料消費量は前モデルの390Dよりも最大12%削減しています。
- オートマッチングエンジンスピードコントロールが負荷に応じて回転数を下げ、燃料消費量を低減します。
- 複数のパワーモードで、燃料消費量を積極的に管理します。

#### Cat<sup>®</sup> Connect (Catコネク特) テクノロジ

- Cat Production Measurement (CPM) により、オペレータは積載質量をキャブ内から確認して、"作業を続けながら"計量することができます。
- CAT Connectテクノロジーソリューションは、LINKおよびDETECTテクノロジーを提供することにより、生産性を向上し、オペレーティングコストを最低限に抑え、投資利益を最適化します。
- VisionLink<sup>®</sup>では、車両の位置、稼働時間、非稼働時間、燃料消費量、生産性、診断コードなどの車両運転データに無線でアクセスできるため、車両性能を最適化します。

#### メンテナンス

- 給脂箇所やフルードタップなどの日常メンテナンス箇所には、地上から楽に手が届きます。
- 並列クリーニングシステム装備で清掃が容易です。
- 複数のS-O-S<sup>SM</sup>ポートと圧力診断タップを備え、メンテナンス時の休車時間を短縮します。

#### 快適性

- キャブは快適で、390Dよりも静粛性が向上しています。
- ジョイスティックコンソールとアームレストは調整できます。シートは調整式で、エアサスペンションと冷暖オプションが用意されています。
- LCDモニタは操作が簡単で、44言語でプログラミングできます。

#### 汎用性

- Catシャーやマルチプロセッサにより、解体作業をすばやく簡単に完了。
- 専用のCatバケットとハンマーで採石作業にも難なく対応。

#### 耐久性

- ブームとスティックは耐用年数の延長を目指して製造されています。
- 高い負荷のかかる部分には、多板構造、鋳造品、鍛造品を使った箱型断面構造を採用。トラックシュー、リンク、ローラ、アイドラ、ファイナルドライブは、引張り強度の高い鋼製です。
- グリース潤滑式のトラックリンクをピンとブッシュの間に配備し、足回りの寿命を延長するとともに騒音を低減。

#### 安全性

- スマート給油により、高速充填燃料ポンプを停止すべき時を感知し、過剰な給油を防ぎます。
- リアビューカメラにより良好な視界を確保し、より効果的、効率的に作業を遂行。
- 延長されたハンドレールとガードレールがデッキ昇降時の安全性を確保し、滑り止めプレートがあらゆる天候で滑る危険を低減。



オフロード法2014年  
基準適合

# Cat® 390F L油圧ショベル

## エンジン

エンジン名称	Cat C18 ACERT
エンジン出力 – ISO 14396	405 kW (543 hp)
定格出力 (ネット) – SAE J1349	391 kW (524 hp)
内径	145 mm
行程	183 mm
総行程容量	18.1 L

## 車両質量

運転質量*	86,030 kg
*リーチ8.4 mブーム、R3.7mスティック、3.9 m <sup>3</sup> バケット、および650 mm シュー。	

## 油圧系統

メインシステム – 最大流量 (合計)	
作業装置	952 L/分
走行回路	1,064 L/分
最大圧力 – 作業機	35,000 kPa
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa
最大圧力 – 旋回時	35,000 kPa
パイロットシステム最大流量	67 L/分
パイロットシステム最大圧力	4,400 kPa

## 走行

最高走行速度	4.5 km/h
最大けん引力	590 kN

## 交換時の容量

燃料タンク容量	1,240 L
冷却水	74 L
エンジンオイル	60 L
旋回ドライブ (片側)	19 L
ファイナルドライブ (片側)	21 L
油圧系統 (タンクを含む)	997 L
作動油タンク	813 L
尿素水タンク	48 L

## 旋回

旋回速度	6.2 rpm
旋回モーメント	260 kN-m

## 寸法

ブームオプション	リーチブーム8.4 m
スティックオプション	R3.7HB2
全高 (輸送時)	5,490 mm
全長 (輸送時)	14,710 mm
後端旋回半径	4,700 mm
ローラの中心間距離	5,120 mm
トラック全長	6,360 mm
最低地上高	900 mm
クローラ中心距離	2,750 mm
全幅 (輸送時) – 650 mmシュー	4,160 mm
キャブ高さ	3,670 mm
カウンタウエイト下端高さ	1,640 mm

## 作業範囲

ブームオプション	リーチブーム8.4 m
スティックオプション	R3.7HB2
最大掘削深さ	8,950 mm
最大床面掘削半径	14,040 mm
最大切削高さ	13,200 mm
最大ダンプ高さ	8,990 mm
最小ダンプ高さ	3,750 mm
最大垂直壁掘削深さ	5,930 mm

Cat製品、ディーラサービス、業種別ソリューションの詳細については、[www.cat.com](http://www.cat.com) をご覧ください。

© 2017 Caterpillar  
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。装備可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, SAFETY.CAT.COM, それらの各ロゴ, "Caterpillar Yellow" および "Power Edge" のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ1929-01  
置き換えAJXQ1929  
(日本)

